

中学校 3 年

Microsoft Teams を活用しネイティブな発音に近づこう

八尾市立成法中学校

教科

英語

単元名

Lesson2 Languages in India

本時のねらい

- ・受け身形を理解し、それを含む英文を聞いたり、読んだりして内容を捉える。
- ・受け身形を理解し、それを含む英文を話したり、正確に書いたりする。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノート上で、単元を見通した学習計画、振り返り等を行う。
- ・Teams の学習アクセラレータを活用し、個の進度に応じた音読練習を行い、音読を振り返り、改善につなげることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノート ・Microsoft Teams 学習アクセラレータ ・デジタル教科書

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	○ロイロノートで学習計画表に本時の「自分の目標」を書く。【写真 1】 ○Lesson2 の単語の word list を配付し、3 段階に分けてペアでチェックをしながら練習する。	・単元の学習計画を見ながら本時の「自分の目標」を書くことで、見通しをもって学習に取り組む。
展開 (35 分)	○Lesson2 part1 本文のリスニングをし、ペアで内容を確認する。【写真 2】 ○ワークシートを使い、文法事項を確認する。 ○全員で本文の読み練習を行う。その後、3 段階に分け、自分の進度に合わせて、ペアでチェックを行う。 ○各自デジタル教科書と自分の音声を確認しながら音読練習を行う。練習が終わったら Teams で音声を録音し、提出する。提出後重要単語の発音練習を行う。 ○【英語から英語、日本語から英語】など、ペアワークや学習アクセラレータでクリアした自分の習熟度にあった内容で本文をノートに書き、学習の確認を行う。【写真 3】	・デジタル教科書のピクチャーカードを見ることでより内容の理解を深める。 ・デジタル教科書で単語のアクセントや音のつながりを自分のペースで確認し、練習することができる。 ・Teams の学習アクセラレータで重要な単語の練習をするとともに、発音、アクセントなどの間違いを確認することで、正しく英文を読めるようになる。 ・録音した自分の発音を聞くことで、癖や間違いに気づくことができる。 ・発音の正確性や誤発音の数などをパーセンテージや数値で見ることができ、次の目標を立てやすい。
まとめ (5 分)	○学習の振り返りをロイロノートの学習計画表で行う。	○本時の内容だけでなく、前時や今後の内容を踏まえてまとめや振り返りを行うことで学習の調整を行う。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】ロイロノートを使い、本時の学習計画を立てる。



【写真 2】ペアで単語練習、本文の読み練習を行う。



【写真 3】Teams の学習アクセラレータを使い音読練習を行う。

児童生徒の反応や変容

- ・デジタル教科書を活用することで自分のペースに合わせて発音練習、音読練習を進めることができた。
- ・Teams の学習アクセラレータを使うことによって自分の発音を確認し、AI の判定によって苦手な単語に気づくことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・生徒一人ひとりの発音やアクセントなどを授業内で確認しようとする生徒の待ち時間が長くなるため、Teams を活用し全員が自分のペースで練習でき、自分の発音を確認しながら正しい発音を習得できるようにしている。
- ・Teams の学習アクセラレータを活用すると、対面ではできなかった音読練習を宿題として出すことが可能になる。また教員、生徒ともに動画を見直すことができるので、生徒の学習だけでなく教員の発音やアクセントの指導にも役立てることができる。